

令和5年度 福井大学教育学部
入学者選抜学力検査問題（後期日程）

小 論 文

学校教育課程（統合型）

注意事項

- 1 この問題用紙は、「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図の後、解答を始める前に、解答用紙の所定の欄すべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙の所定の解答欄に収まるように記入すること。
- 4 解答用紙のホッチキスは外さないこと。
- 5 解答の下書きには、別配布する白紙を使用すること。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収する。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってもよい。

問 題 訂 正

科目名「小論文」

〔問題冊子〕

10枚のうち第7枚目
上から4行目

（誤）ところで、『学びの差異』『教への差異』が・・

（正）ところで、『学びの差異』『教への差異』の「差異」が・・

（10枚のうち第1枚目）

第1問

次の資料を読み、設問1～設問3に答えなさい。

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

令和5年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査問題（後期日程）
小論文（学校教育課程・統合型） 問題用紙

（10枚のうち第2枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（10枚のうち第3枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（10枚のうち第4枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（山口裕之『「みんな違ってみんないい」のか？』より、一部改変）

設問1 筆者によれば、「正しさは人それぞれ」という相対主義にはどのような問題点がありますか。

設問2 筆者にとってあるべき「正しさ」とはどのようなものですか。

設問3 あなたは学校現場において「正しさは人それぞれ」という相対主義をどの程度認めるのが適切だと考えますか。そのように考える理由を明確にしつつ具体的に述べなさい。

（10枚のうち第5枚目）

第2問

次の資料は、小松光/ジェルミー・ラプリー『日本の教育はダメじゃないー国際比較データで問
いなおす』から抜粋し、一部改変したものである。設問1～設問3に答えなさい。

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

図1-1：20世紀型学力（上位20位）
出所：ティムズ2015年

（10枚のうち第6枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

図 1-2：21 世紀型学力（上位 20 位）
出所：ピザ 2018 年。中国は北京、上海、江蘇省、浙江省

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（10枚のうち第7枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

（10枚のうち第8枚目）

著作権の関係上、この部分は公開していません。

図 2-10 : (a) 別解の発表が含まれる授業の割合（総授業数に対する）、
(b) 子どもたちに与えられる課題のうち発見・思考型問題の割合
出所 : Stigler1999

著作権の関係上、この部分は公開していません。

図 2-11 : 国ごとの授業の質の比較
出所 : Stigler1999

（10枚のうち第9枚目）

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

図 2-12：45 歳から 54 歳の能力
出所：ピアック 2011 年～2016 年

（注 1）ピザ（PISA）とは、OECD（経済協力開発機構）が 3 年おきに実施する国際的な学習到達度調査であり、義務教育終了段階（15 歳）において、それまでに身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測ることを目的としている。学力では読解力、数学的

令和5年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査問題（後期日程）
小論文（学校教育課程・統合型） 問題用紙

（10枚のうち第10枚目）

リテラシー、科学的リテラシーの3分野について調査している。

（注2）2015年に実施されたティムズ調査には、中学校は39の国や地域が参加した。参加した国や地域の平均得点は、中学校数学が481点、中学校理科が486点であった。

（注3）「新しい学力観」とは、1989年に告示された学習指導要領総則で示され、1991年に通知された指導要録改訂のなかで新学習指導要領がめざす学力観として登場する。「新しい学力観」の特徴として、①自ら学ぶ意欲の重視、②社会の変化に主体的に対応できる能力の育成、③思考力、判断力、表現力の重視と育成、④基礎的・基本的な内容の指導の徹底、⑤個性を活かす教育の充実が挙げられる（藤岡秀樹『「新しい学力観」を考える」1996年）。

（注4）2018年に実施されたピザ調査には、79の国や地域が参加した。参加したOECD加盟国の平均得点は、数学的リテラシーが489点、科学的リテラシーが489点、読解力が487点であった。

（注5）ピアック（PIAAC）とは、OECD（経済協力開発機構）が中心となって実施する国際比較調査の一つで、参加する各国の成人（16～65歳）が持っている「成人力」（課題を見つけて考える力や、知識・情報を活用して課題を解決する力など、実社会で生きていく上での総合的な力）について調査し、その力と社会的・経済的成果との関係などを分析している。読解力、数的思考力、状況の変化に応じた問題解決能力の3分野について調査している。

設問1 図1-1及び図1-2に関する①～④の内容について、正しいものには○、誤っているものには×を解答欄に記載しなさい。

①教育水準が世界トップクラスとされるフィンランドのピザ2018における点数は、上位20位の中で比較して突出して高いといえる。

②ティムズ2015の数学における日本の点数は、ロシアの点数の約2倍である。

③ティムズ2015の数学及び理科の結果で上位10位以内に位置する日本・韓国・シンガポール・台湾・香港は、ピザ2018の数学及び理科の結果でも上位10位以内に位置している。

④ピザ2018の読解における日本の点数は、OECD加盟国の平均得点以下である。

設問2 下線部の主張について、著者がこのように考える根拠を具体的に述べなさい。

設問3 あなたは将来教師として、どのような授業を展開していきたいか。また、授業を通じて子どもたちにどのような力を培っていきたいか。本文を踏まえつつ、あなたの考えを論じなさい。

受験番号



令和5年度 福井大学教育学部
入学者選抜学力検査（後期日程）解答用紙

（4枚のうち第1枚目）

小 論 文

学校教育課程（統合型）

第1問

設問1

解答欄

設問2

解答欄

受験番号

令和5年度 福井大学教育学部
入学者選拔学力検査（後期日程） 解答用紙

(4枚のうち第2枚目)

小論文

学校教育課程（統合型）

設問 3

解答欄

[illegible]

受験番号

令和5年度 福井大学教育学部
入学者選抜学力検査（後期日程） 解答用紙

(4枚のうち第3枚目)

小論文

学校教育課程（統合型）

第2問

設問 1 解答欄

1

②

③

④

設問 2

解答欄

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

受験番号

令和5年度 福井大学教育学部
入学者選抜学力検査（後期日程） 解答用紙

(4枚のうち第4枚目)

小論文

学校教育課程（統合型）

設問 3

解答欄

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are approximately 20 lines visible. The paper has a slightly textured appearance and some minor discoloration or shadows, suggesting it might be a scan of a physical document. There is no handwriting or printed text on the page.